

令和8年度

子ども総合センター事業概要

(令和7年度実績)



令和8年8月

宮城県子ども総合センター

目 次

I 宮城県子ども総合センターの概要

1 沿 革	1
2 組織概況	3
3 業務概要	4

II 令和7年度事業実施概要

1 子どもメンタルクリニック事業	6
(1) 附属診療所診療状況	6
(2) 自閉スペクトラム症家族教室の開催	7
(3) 教育・保健・福祉等関係機関の支援及び専門的技術支援	8
2 子どもデイケア事業	9
(1) 登録児童生徒の概要	9
(2) プログラム実施状況	10
(3) 本人・家族支援	11
(4) 関係機関との連携	12
(5) 子どもデイケア終了者に対するフォローアップ	12
3 児童健全育成事業	13
(1) 児童文化普及事業	13
(2) のびのびサロン運営事業	13
(3) 関係団体活動支援事業	13
4 不登校児童等支援事業	14
○ 不登校相談・支援機関等研修会の開催	14
5 母子保健体制強化事業	15
○ 保健師等母子保健関係者に対する研修	15
6 専門職研修事業	16
(1) 職員等研修（詳細）	18
(2) 現任保育士研修（詳細）	21
(3) 保育士等キャリアアップ研修（詳細）	23
(4) 子育て支援員研修（詳細）	24
(5) 放課後児童支援員宮城県認定資格研修（詳細）	29
7 子どもの心のケア推進事業	32
(1) 子どもの心のケア体制強化事業	32
(2) 子どもの心のケア研修事業	32
8 発達障害者支援センターの運営	36
(1) 発達障害者支援センター活動実績	36
(2) 新規ケース支援検討会・定期連絡会	38
(3) 情報交換会	38
(4) 研修会の開催	39
(5) ひらがな音読支援	43
(6) 発達障害者家族支援	43
9 母子保健指導普及事業	46

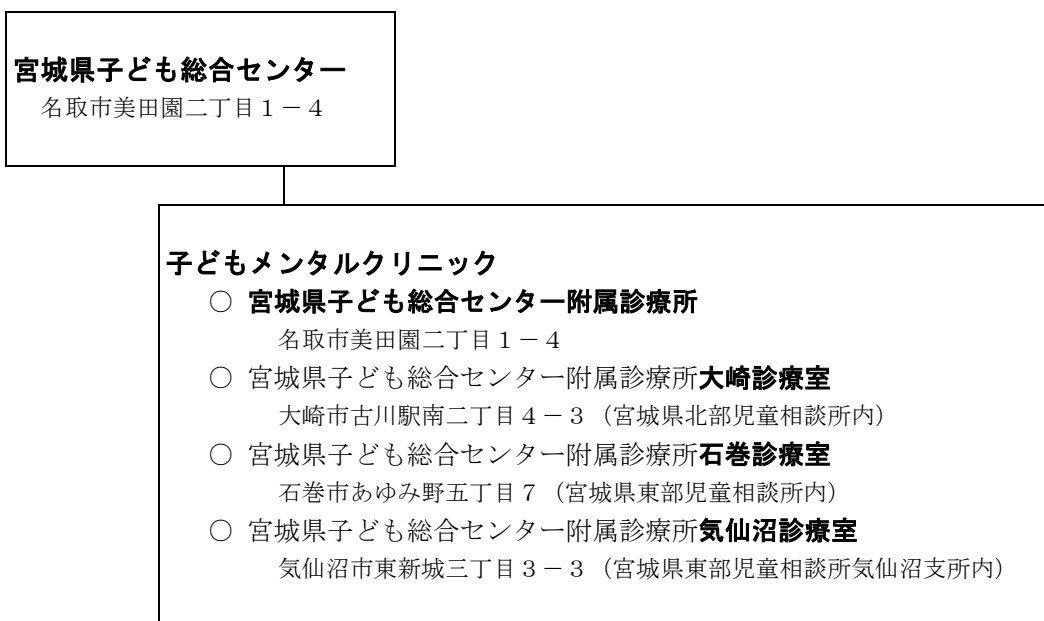
I 宮城県子ども総合センターの概要

1 沿革

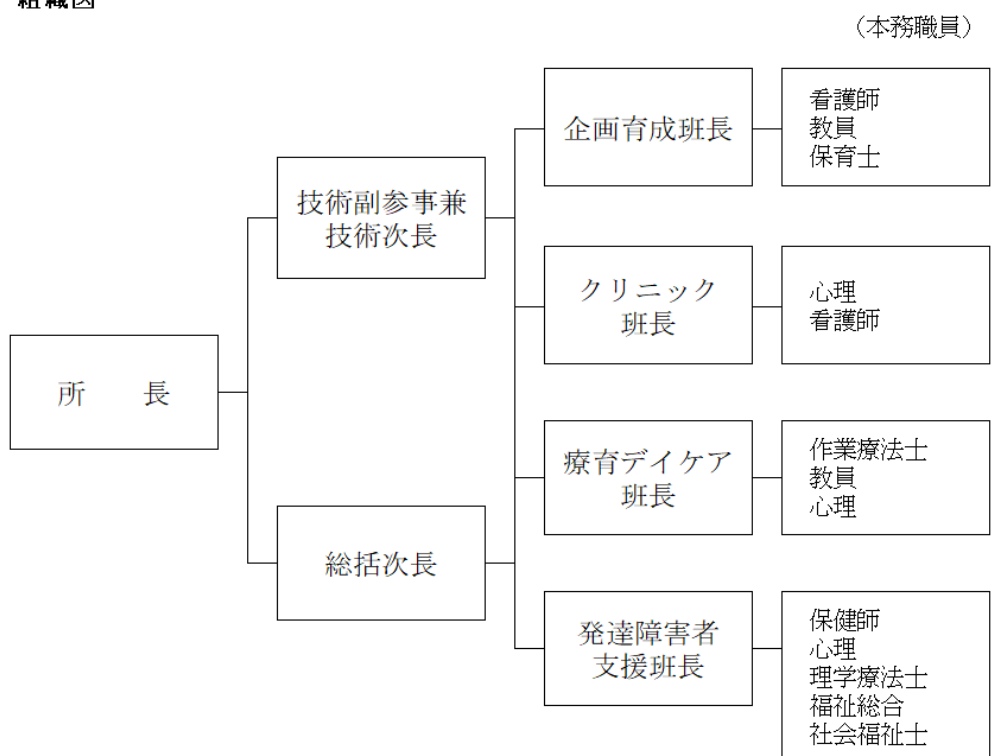
- ・平成9年度～平成10年度 「みやぎ子ども総合支援機能あり方検討委員会」を設置。子どもに関する様々な現象が社会問題化し、行政として高度な対応が求められていたことから、学識経験者で構成する委員会を設置し、児童相談所の機能と県立児童館の機能を融合し、子どもの健全育成を図りつつ、問題を抱えた子どもたちをケアしていく総合的支援機能のあり方について検討。
- ・平成11年度～平成12年度 「みやぎ子ども総合支援機能あり方検討委員会」の検討結果を受け、関係部局と意見交換しながら、具体的な組織のあり方について検討。
- ・平成12年4月 宮城県中央児童相談所において「子どもメンタルクリニック」を暫定実施。
- ・平成13年4月 宮城県中央児童相談所と宮城県中央児童館を統合再編し、多様な子どもの育成支援、精神科診療、人材育成など、子どもや家庭、関係機関等を総合的に支援する宮城県子ども総合センター（宮城県子ども総合センター附属診療所古川診療室を含む。）を設立するとともに、児童相談所の機能を強化した地域子どもセンターを県中央及び古川に加え、沿岸地域の体制を強化するために石巻に支所を設置。
- ・平成14年4月 宮城県子ども総合センター附属診療所石巻診療室を開設。
- ・平成15年9月 精神科通院医療の一形態である子どもデイケア事業を開始。
- ・平成18年4月 宮城県子ども総合センター附属診療所気仙沼診療室を開設。
宮城県子ども総合センター附属診療所古川診療室を宮城県子ども総合センター附属診療所大崎診療室に名称変更。
- ・平成23年3月 宮城県子どもの心のケアチーム巡回相談を開始。
- ・平成24年2月 東日本大震災中央子ども支援センター宮城県事務所が宮城県子ども総合センター内に設置される。
- ・平成25年3月 宮城県中央児童館を廃止。児童遊園及び緑地部分を仙台市に譲渡。
- ・平成25年4月 仙台市青葉区本町一丁目4-39から名取市美田園二丁目1-4（まなウェルみやぎ）に移転。
- ・平成26年3月 東日本大震災中央子ども支援センター宮城県事務所が閉鎖される。
- ・平成26年4月 心のケア推進班を新設。
東日本大震災みやぎ子ども支援センターが宮城県子ども総合センター内に設置される。
- ・平成28年3月 東日本大震災みやぎ子ども支援センターが閉鎖される。

- ・平成29年3月 心のケア推進班を廃止。
- ・平成31年4月 発達障害者支援班を新設。
- ・令和元年7月 宮城県子ども総合センター内に県内2カ所目の宮城県発達障害者支援センターを設置。
- ・令和4年6月 療育デイケア事業においてショートケアを導入。
- ・令和4年11月 附属診療所において、段階的に電子カルテシステムを導入。
- ・令和8年4月 宮城県の発達障害者支援センターを宮城県子ども総合センターに一本化。

2 組織概況（令和8年4月1日現在）



組織図



3 業務概要

(1) 子どもメンタルクリニック

児童精神科医を中心として、子どもの成長発達や、育児不安などに関する悩みを持つ保護者、情緒面の問題を持つ子ども及び発達障害の子どもなどに関する診療を行う。また、児童相談所や市町村等関係機関に専門的な技術支援を行う。

(2) 子どもデイケア

様々な心の問題及び発達の問題などにより、不登校など社会に適応しにくい子どもたちを対象に、社会生活を営む上で必要な生活技能を高めるための訓練や学習プログラムを提供し、適応能力の向上を図る。

(3) 児童健全育成

遊びや児童文化に関する研修等を通じ、地域や関係機関で様々な子どもの特性や成長段階に応じた健全育成事業を実施する人材を育成し、地域の子育て中の家族を対象に、遊び場の提供として「のびのびサロン」の運営などを実施する。

(4) 不登校児童等支援

不登校児童生徒に対応している機関の職員に対して、不登校の現状と抱えている課題や児童生徒とその家族に対する支援方法について考え、理解を深める機会として、不登校相談・支援機関等研修会を実施する。

(5) 母子保健体制強化

母子保健業務に従事する職員を対象に、市町村の乳幼児健診を通して、親子のアセスメントとその後の支援に自信をもって取り組み、発達支援が必要な親子を地域で支援する体制が整備できるよう研修会を実施する。

(6) 専門職研修

複雑化している子どもの相談業務や健全育成活動を的確に実施するため、児童福祉司、児童心理司、児童厚生員等関係職員の実務研修や、保育士が多様化した保育ニーズや課題に対応できるよう、専門知識や技術習得の研修を実施する。また、子ども・子育て支援新制度の施行に伴う放課後児童支援員を対象とした認定資格研修及び子育て支援員研修を実施する。

(7) 子どもの心のケアの推進

東日本大震災や豪雨等による自然災害の多発により様々な体験をした子どもたちの心のケアを行うために、附属診療所における児童精神科医療体制の強化を図る。保育士や教員など子どものメンタルヘルスに関わる支援者の対応力向上を図ることを目的に、コンサルテーションや事例検討会、研修会などを実施する。

(8) 発達障害者支援体制の整備

発達障害に対する社会的認知の高まりなどによる相談件数の増加や多様化する支援ニーズに対応するため、身近な地域で充実した支援を受けられる体制の整備に向け、子ども総合センター内に設置した「発達障害者支援センター」において、発達障害者への総合的な支援を行う専門機関として、一次支援機関（市町村、障害児等療育支援事業受託事業所等）・二次支援機関（「発達障害者地域支援マネジャー」配置事業所）への技術支援を行う。また、県内の発達障害支援に携わる職員を対象とし、支援技術の向上を図るための各種研修会を実施する。

(9) 母子保健指導普及事業

多様化する母子に関する様々な相談内容に対し、経験年数の浅い母子保健従事者が対応できるよう技術的支援の向上を目的とした母子保健基礎講座研修会を実施する。

Ⅱ 令和７年度事業実施概要

１ 子どもメンタルクリニック事業

児童精神科医を中心として、情緒面の問題（強い不安、抑うつ、強迫、不適応等）や発達障害（自閉スペクトラム症、ADHD等）を持つ子ども等に対し保険診療を行う子どもメンタルクリニック事業を実施した。

(1) 附属診療所診療状況（デイケア通所児童を含む。）

子ども総合センター附属診療所、大崎診療室、石巻診療室及び気仙沼診療室（以下「当診療所」という。）においては、新患５５８人の児童や親が受診し、延べ患者数は８，８００人に達している。

新患の主訴は、幼児期から思春期までの様々な情緒面の問題、発達に関する診断、発達障害を背景とした行動上の問題などが多い。精神的な症状や行動上の問題などが大きく、治療を必要とする患者には、継続的な診療を行っている。

○ 令和７年度診療状況

単位：人

診療室	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
名取	新患	15	30	58	57	19	37	62	46	35	29	42	46	476
	延べ	409	527	558	609	468	497	638	505	510	538	528	529	6,316
大崎	新患	3	8	9	9	3	6	4	5	1	4	3	2	57
	延べ	112	113	106	137	99	114	128	103	108	112	76	102	1,310
石巻	新患	1	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	2	7
	延べ	62	77	67	70	57	59	67	78	54	71	59	73	794
気仙沼	新患	4	1	0	2	1	2	2	1	2	1	1	1	18
	延べ	30	34	33	30	38	30	33	32	30	29	33	28	380
合計	新患	23	39	68	68	23	45	68	54	38	35	46	51	558
	延べ	613	751	764	846	662	700	866	718	702	750	696	732	8,800

○ 患者地区別診療状況

単位：人

地区	仙台	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	他県	保護所	その他	合計
受診者数	460	1,668	3,579	945	154	262	1,201	439	22	41	29	8,800

○ 年次推移

診 療 室	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
名 取	新患	910	760	790	785	753	823	792	695	874	576	609	534	476
	延べ	4,905	5,620	5,968	5,798	5,517	5,959	6,128	6,546	6,720	6,569	7,122	6,777	6,316
大 崎	新患	110	96	75	82	61	63	45	64	48	95	86	83	57
	延べ	1,204	1,272	1,235	1,173	949	998	1,063	1,271	1,459	1,475	1,472	1,439	1,310
石 巻	新患	82	56	50	33	50	32	34	42	61	53	12	13	7
	延べ	387	340	393	301	383	415	482	652	913	1,086	1,030	887	794
気仙 沼	新患	43	32	44	27	41	31	39	30	37	31	16	21	18
	延べ	265	304	320	291	272	308	431	429	467	444	426	421	380
合 計	新患	1,145	944	959	927	905	949	910	831	1,020	755	723	651	558
	延べ	6,761	7,536	7,916	7,563	7,121	7,680	8,104	8,898	9,559	9,574	10,050	9,524	8,800
診療日数		251	245	244	237	244	244	240	243	241	241	236	235	226
医 師 数 (常勤換算)		4.1	4.3	4.1	3.15	2.4	2.5	2.95	3.7	3.55	3.45	3.45	2.85	2.75

※ 診療日数は名取診療室の年間数です。

(2) 自閉スペクトラム症家族教室の開催

当診療所に通院歴があり自閉スペクトラム症と診断された児童の保護者等を対象に、障害についての正しい知識を習得し、障害特性に合った養育方法を学ぶことを目的として実施した。発達の診断や見立てを主訴として来院する児童が依然として多く、診療ではフォローしきれない部分を当事業で補うことが期待されている。

○ 開催状況

<前期>

日時	テーマ	講師	参加者数
令和7年5月12日（月） 午前10時～正午まで	自閉スペクトラム症について	宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長（小児科医） 佐藤 寛記	10人 （8家族）
令和7年6月2日（月） 午前10時～正午まで	お子さんの特徴をつかもう	公認心理師 臨床心理士 西澤 由佳子 氏	8人 （6家族）
令和7年7月7日（月） 午前10時～正午まで	お子さんに合わせた支援を 考えよう	公認心理師 臨床心理士 西澤 由佳子 氏	6人 （5家族）
令和7年9月1日（月） 午前10時～正午まで	先輩保護者からのメッセージ	宮城県発達障害ペアレント・メンター 2人	9人 （7家族）

<後期>

日時	テーマ	講師	参加者数
令和7年10月20日（月） 午前10時～正午まで	自閉スペクトラム症について	宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長（小児科医） 佐藤 寛記	6人 （4家族）
令和7年11月17日（月） 午前10時～正午まで	お子さんの特徴をつかもう	公認心理師 臨床心理士 西澤 由佳子 氏	4人 （3家族）
令和7年12月15日（月） 午前10時～正午まで	お子さんに合わせた支援を 考えよう	公認心理師 臨床心理士 西澤 由佳子 氏	6人 （4家族）
令和8年1月19日（月） 午前10時～正午まで	先輩保護者からのメッセージ	宮城県発達障害ペアレント・メンター 2人	5人 （4家族）

(3) 教育・保健・福祉等関係機関の支援及び専門的技術支援

教員、保健師、児童福祉司などのコンサルテーションを行い、関係職種の連携と地域における児童福祉及び児童精神保健の向上を図った。

2 子どもデイケア事業

不登校、ひきこもり、発達障害等社会生活に不適應を起こし、精神医学的な関わりが必要な児童生徒に対し、集団の場面において、医療・教育・福祉的側面からの専門的なケアを行った。

(1) 登録児童生徒の概要

令和7年度は163日開設。年度における登録者数は17人である（1人は年度途中で終了したため月末登録者数は最大で16人）。お試し利用者を含む年間の利用者延人数は568人、1日の平均利用者数は3.5人である。

1) 月別登録者・利用者・1日の平均利用者数

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開設日数	10	14	17	16	12	14	17	13	11	13	15	11	163
登録者数(月末)	13	14	14	14	15	15	15	15	16	15	16	16	
利用者実人数 (お試し利用含む)	13	12	12	13	15	14	13	15	13	16	14	15	
利用者延人数 (お試し利用含む)	31	48	53	55	47	45	58	53	40	52	51	35	568
1日の平均利用者数	3.1	3.4	3.1	3.4	3.9	3.2	3.4	4.1	3.6	4.0	3.4	3.2	3.5

2) 学年

単位：人

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
0	0	0	0	0	0	5	3	9	17

3) 性別

単位：人

男	女	計
8	9	17

4) 居住地（市町別）

単位：人

仙台市	柴田町	名取市	岩沼市	亘理町	角田市	塩釜市	計
4	2	6	1	2	1	1	17

5) 主たる診断名

単位：人

広汎性発達障害	不安障害	適応障害	強迫性障害	知的障害	計
8	3	3	2	1	17

6) 学年別見学者実数

単位：人

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
見学者実数	0	0	1	0	0	3	2	3	1	10

7) 学年別お試し利用者数

単位：人

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
お試し実数	0	0	0	0	0	2	1	3	3	9

8) 月別お試し利用者延べ人数

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延人数	4	1	3	3	4	2	3	8	2	6	9	6	51

9) 終了者転帰

単位：人

通学継続	進学	就職	計
1	8	1	10

10) 年次推移

単位：人

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
登録者数	22	20	20	22	24	29	26	18	24	21	22	17
利用者延人数	833	1,065	1,178	993	968	794	667	517	535	678	606	568

(2) プログラム実施状況

1) 通常プログラム

プログラム名	年間実施回数
ポケットタイム (コミュニケーション・ワーク)	24回
ものづくりクラブ (創作活動)	25回
おにぎりクラブ (調理活動)	21回
おんかつ (音楽活動)	13回
科学あそび (理科実験等活動)	9回
理科教室	1回
運動クラブ (運動、ゲーム等)	11回
ゆったり好き活 (創作、感覚あそび、軽運動等)	11回
わくわくサロン (レクリエーション活動)	21回
かんたんおにぎりクラブ (調理活動)	16回
学びの時間 (学習活動)	151回

2) 進路学習会、先輩の話を聞く会

プログラム名	実施日	参加者数
「進路学習会」 ・情報提供「中学卒業後の進路について」 ・懇談	令和7年7月8日(火) (午後プログラム)	8人 (利用者4人 保護者4人)

先輩の話を聞く会 ・デイケア卒業生から進学等体験談を聞く ・質疑応答、懇談	令和7年7月29日(火) (午後プログラム)	7人 (利用者5人 卒業生2人)
---	---------------------------	------------------------

3) 季節・所外行事プログラム

プログラム名	実施日	参加者数
季節の行事「夏まつり」	令和7年8月8日(金)	8人
季節の行事「クリスマス会」	令和7年12月19日(金)	9人
所外行事「動物ふれあい体験、井上農園」	令和7年10月10日(金)	5人
所外行事「石ノ森萬画館、サイゼリヤ」	令和8年1月15日(木)	6人

4) 特別プログラム

プログラム名	実施日	参加者数
SNS教室 講話「スマホやAIとの上手なつきあい方」	令和7年11月11日(火) (午後プログラム)	5人 (中学生利用者)
親子行事「親子コンサート」	令和8年2月13日(金) (午後プログラム)	7人 (利用者4人 その家族3人)

(3) 本人・家族支援

1) 面接実施件数

単位：件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
本人面接	6	6	10	4	5	1	2	4	4	1	5	10	58
保護者面接	5	4	2	2	0	2	0	2	6	2	2	1	28

2) 評価会議の対象者数

開催月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録者	13	14	14	14	15	15	15	15	16	15	16	16	178
お試し利用者	2	1	1	2	2	2	2	3	2	6	4	4	31

3) 家族のつどいの開催

	内容	実施日	参加者数
1回目	・デイケア活動紹介（スライドショー） ・懇談	令和7年5月21日(水) 午後1時15分から午後3時まで	3人 (2家族)
2回目	・デイケア活動紹介（スライドショー） ・懇談	令和7年12月3日(水) 午後1時15分から午後3時まで	5人 (4家族)

(4) 関係機関との連携

1) 学校連絡会の開催

内容	実施日	参加者数
デイケア登録者の在籍校の担当者を対象とした情報共有 [子どもデイケア事業説明 ・施設内見学・個別情報交換]	令和7年8月6日(水) 午後1時15分から 午後4時20分まで	8人 [小学校6校、中学校1校 計7校]

2) 学校訪問及び関係機関支援者会議等への出席

内容	実施件数
デイケア登録者の在籍学校へ訪問・情報共有	訪問 実2校／延2校(対象者3人) 来所 実1校(対象者1人) 電話 実5校／延9校(対象者6人)
ケース会議(学校参加含)及び関係者情報共有の参加	ケース会議1回(対象者1人)

3) デイケア登録者の在籍学校に対する通所証明書の発行(件)

月	6	8	10	12	2	3	計
発行件数	17	17	17	19	18	19	107

(5) 子どもデイケア終了者に対するフォローアップ

内容	実施回数・人数
自由来所	実7人／延21回(1回:1人、2回:3人、4回:2人、6回1人)
電話連絡	実6人／延7人
卒業生の会(交流会)	令和7年12月25日(木):参加者5人 (通所終了後3年以内の希望者)

3 児童健全育成事業

(1) 児童文化普及事業

児童文化を次世代に伝え、広く普及することにより、児童福祉の向上と児童の自主的で創造的な活動が助長されることを目的に児童文化講座を開設した。

○ 児童文化講座

【開催日】令和7年7月17日（木）・8月5日（火）

【会場】多賀城市文化センター 展示室
大崎合同庁舎 大会議室

【参加者】114人（2日間）

【内容】「身近な素材ですぐできる！タオル遊びとワンシート&パネルシアター！」

淑徳大学 教授 松家 まき子 氏

(2) のびのびサロン運営事業

まなウェルみやぎ1階の「のびのびルーム」と「にこにこラウンジ」において、地域の子育て中の家族を対象に、遊び場の提供として「のびのびサロン」を運営した。

【運営日】火曜日から木曜日まで

【利用時間】午前9時30分から午前11時45分まで

【利用者数】延べ1,285人

【運営日数】140日

(3) 関係団体活動支援事業

市町村児童館活動等の活性化を図るために、宮城県児童館・放課後児童クラブ連絡協議会（県児連）等の自主運営に対して支援を行った。

○ 宮城県児童館・放課後児童クラブ連絡協議会運営支援
通年（児童館職員等研修会共催3回）

○ 児童館・放課後児童クラブ等訪問
・わたりペンギン児童クラブ
・亘理町逢隈児童館

○ 宮城県地域活動（母親クラブ）連絡協議会の育成のため、アドバイスや地域連携
ルームの貸し出しなどの支援

4 不登校児童等支援事業

適応指導教室等の職員を対象にした研修会を実施した。

○ 不登校相談・支援機関等研修会の開催

不登校児童生徒に対応している機関の職員が、不登校の現状と抱えている課題や児童生徒とその家族に対する支援方法について考え、理解を深めるための研修会を開催した。

○不登校相談・支援機関等研修会

【開催日】令和7年9月19日（金）

【会場】まなウェルみやぎ 第3研修室

【参加者】50人

【内容】講義「認知能力検査『NINO』を活用した児童生徒の理解と支援」
講師 東北福祉大学 教授 中村 恵子 氏

○適応指導教室等訪問

【訪問日】令和7年11月 5日（水）

令和7年11月25日（火）

【会場】岩沼市教育支援センター いわぬま子どもの心のケアハウス「あいるーむ」

たがじょう子どもの心のケアハウス

【訪問職員】企画育成班 主幹 1人、主査 1人（岩沼市・多賀城市）

療育デイケア班 技術主幹（副班長） 1人（岩沼市）

【訪問内容】（1）活動・運営状況と課題等について

（2）当センターの研修事業についての意見や要望

5 母子保健体制強化事業

現在、母子保健分野においては様々な専門職が地域で活躍しており、行政保健師にも更なる専門性が求められている。そのため、乳幼児の精神発達やアタッチメントなど母子保健業務に従事する上で必要な知識を深め、市町村乳幼児健診等に求められている発達障害児の早期発見のための手法を学ぶことを目的として研修を実施した。研修には、国が進める5歳児健診の実施に向けて、5歳児健診の実績を持つ自治体から健診・相談の実際やその後の支援について話を聞き、5歳児健診の具体を学べる内容も含めた。

○ 保健師等母子保健関係者に対する研修

研修名	実施日・会場	内 容	対象・参加者数
母子保健体制強化事業研修会 (母子保健分野)	令和7年 6月6日(金) 総合教育センター ハイブリッド形式	講義 「乳幼児期の子どもの発達～5歳児健診の時期を中心に～」 講師 宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長(小児科医) 佐藤 寛記 講義 「アタッチメント形成に課題のある幼児の理解と支援」 講師 宮城学院女子大学 名誉教授 足立 智昭 氏 話題提供 「5歳児を対象とした健診、相談等の実際」 話題提供者 白石市健康推進課 技術主幹 小室 陽子 氏 大崎市教育委員会 学校教育課 技術主幹 鹿野 美枝 氏	県・市町村の保健師、市町村母子保健事業に従事する職員等 70人

6 専門職研修事業

(1) 職員等研修

児童虐待、いじめ、不登校、ひきこもり等の様々な子どもをめぐる問題が深刻化している。こうした複雑化している相談業務や、健全育成などを的確に実施するため、児童厚生員、放課後児童支援員などの職員の実務研修を行い、資質の向上を図った。

- ① 対人援助機関職員基礎研修
- ② 児童館等新任職員研修
- ③ 児童館新任館長研修
- ④ 児童館長研修
- ⑤ 遊びの技術研修会
- ⑥ 放課後児童クラブ職員等ブロック研修
- ⑦ 放課後児童支援員資質向上研修
- ⑧ 子育てボランティア研修

※ 詳細については、P18 ～ P20 を参照

(2) 現任保育士研修

近年、子育て支援等、良質な保育サービスの提供、子どもの立場に立った保育の質の確保等、多様化した保育ニーズに対応し得る保育士の養成が求められている。こうした保育士の様々な課題に対応できるよう、高い専門知識や技術の習得の研修を行い、資質の向上を図った。

- ① 所長研修
- ② カウンセリング基礎研修
- ③ カウンセリング応用研修
- ④ 相談・支援研修
- ⑤ 大学派遣研修

※ 詳細については、P21 ～ P22 を参照

(3) 保育士等キャリアアップ研修

保育所等（子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業をいう。以下同じ。）の保育現場におけるリーダー的職員の育成やその資質の向上を図ることを目的として、厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長通知「保育士等キャリアアップ研修の実施について」（平成29年4月1日付け雇児保発0401第1号）の別紙「保育士等キャリアアップ研修ガイドライン」（以下「国ガイドライン」という。）に基づく研修を委託により実施した。

※ 詳細については、P23 を参照

(4) 子育て支援員研修

地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、子育て支援分野の各事業の担い手となることを希望する者に「子育て支援員」として必要となる知識や技能等の習得を図ることを目的として、「子育て支援員研修事業実施要綱(平成 27 年 5 月 21 日付け雇児発 0521 第 18 号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長)」に基づき、都道府県が実施主体となる子育て支援員研修を委託により実施した。

- 基本研修
- 専門研修：地域保育コース(地域型保育)
- 専門研修：放課後児童コース

※ 詳細については、P24 ～ P28 を参照

(5) 放課後児童支援員宮城県認定資格研修

放課後児童健全育成事業に従事する放課後児童支援員として必要な基本的生活習慣を習得するための援助、自立に向けた援助及び家庭と連携した生活支援等に必要な知識・技能の習得等を目的として、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準(平成 26 年厚生労働省令第 63 号)」第 10 条第 3 項に規定する都道府県認定資格研修を委託により実施した。

※ 詳細については、P29 ～ P31 を参照

(1) 職員等研修（詳細）

名称	対 象 者	内 容 ・ 講 師	実施日・会場
① 職対 員人 基援 礎助 研機 修関	対人援助機関の 新任職員	(前期) 講義・演習「対人援助の基本～ソーシャルワークの 視点をもとに～」 東北福祉大学 教授 竹之内 章代 氏 (後期) 講義・演習「対人援助の基本～事例検討の進め方～」 東北福祉大学 教授 竹之内 章代 氏	前期：令和 7 年 6 月 3 日(火) 受講者 31 人 まなウェルみやぎ 後期：令和 7 年 12 月 16 日(火) 受講者 27 人 まなウェルみやぎ
② 児 童 館 等 新 任 職 員 研 修	児童館・放課後 児童クラブの新 任（配属されて 3 年未満）の職 員	講義Ⅰ「これからの児童館と放課後児童クラブ ～こども主体の活動を創造する～」 岩手大学 准教授 深作 拓郎 氏 講義Ⅱ「児童館・放課後児童クラブ職員に求められ る服務と役割」 特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ 理事長 齋藤 勇介 氏 ※6/20、6/25 それぞれ開催。 研修会場、講義内容は、両日とも同じ	令和 7 年 6 月 20 日(金) 受講者 57 名 令和 7 年 6 月 25 日(水) 受講者 58 名 仙台市生涯学習 支援センター
③ 児 童 館 新 任 館 長 研 修	就任して 3 年未 満の児童館長	講義「『こども主体』をより実践していく児童館 ～ガイドライン・運営指針の改正への対応」 岩手大学 准教授 深作 拓郎 氏	令和 7 年 5 月 16 日(金) まなウェルみやぎ 受講者 34 人
④ 児 童 館 館 長 研 修	児 童 館 長 及 び 児童センター長	講義「『こどもの権利』をこどもと共に学び合う 児童館」 工学院大学 教授 安部 芳絵 氏	令和 7 年 9 月 12 日(金) まなウェルみやぎ 受講者 43 人

名称	対 象 者	内 容 ・ 講 師	実施日・会場
⑤ 遊 び の 技 術 研 修 会	児童館・放課後 児童クラブで健 全育成に携わる 職員	研修Ⅰ 表現活動「ぬくもり感じるわらべうた・手あそび」 早苗会(宮城県立保育専門学院同窓会) 会長 杉山 秀子 氏 研修Ⅱ ゲーム・運動遊び「こどもの運動遊び」 名取市那智が丘児童センター 館長 齊藤 寿一郎 氏 ※上記研修を 10/16、11/14 それぞれ開催	令和 7 年 10 月 16 日(木) まなウェルみやぎ 受講者 34 人
			令和 7 年 11 月 14 日(金) 仙台市生涯学習支 援センター 受講者 48 人
⑥ 放 課 後 児 童 ク ラ ブ 職 員 等 ブ ロ ッ ク 研 修	放課後児童クラ ブ職員等	表現活動 「工作のススメ」 仙台市榴岡児童館 主任 宮崎 雅行 氏 ※上記研修を 5/27、6/4、6/6 それぞれ開催	令和 7 年 5 月 27 日(火) 石巻合同庁舎 受講者 23 人
			令和 7 年 6 月 4 日(水) まなウェルみやぎ 受講者 32 人
			令和 7 年 6 月 6 日(金) 仙台市生涯学習支 援センター 受講者 44 人

名称	対 象 者	内 容 ・ 講 師	実施日・会場
⑦ 放課後児童支援員資質向上研修	放課後児童支援員	講義「保護者との連携・協力、相談支援のあり方について―自らの「保育の質」との連動を軸に考える―」 盛岡大学 教授 石川 悟司 氏	令和 7 年 10 月 2 日(木) まなウェルみやぎ 受講者 38 人
		講義「放課後児童クラブ運営指針の改訂内容と実際の取り組みについて」 特定非営利活動法人ベビースマイル石巻 代表理事 荒木 裕美 氏	令和 7 年 11 月 11 日(火) マルホンまきあーとテラス 受講者 27 人
		講義「こどもを取り巻く問題の理解と、関わり方のポイントについて」 宮城大学 准教授 金野 智津 氏	令和 7 年 12 月 10 日(水) 東北自治総合研修センター 受講者 52 人
		講義「放課後児童クラブにおける、小学校高学年のこどもへの配慮と関わり方のポイント」 仙台市八乙女児童館 主任 堀田井 裕子 氏	令和 8 年 1 月 19 日(月) まなウェルみやぎ 受講者 46 人
⑧ 子育てボランティア研修	子育て支援に関わる方（子育てボランティア等）	講義「親子の笑顔溢れる時間 ～音楽を通して～」 小原音楽教室 主宰 小原 真理 氏	令和 7 年 10 月 23 日(木) まなウェルみやぎ 受講者 11 人
		講義「6 歳までに伝えたい性のおはなし はじめの一步」 出張専門助産院アンダンテ 院長 根本 靖子 氏	令和 7 年 10 月 28 日(火) まなウェルみやぎ 受講者 11 人
		講義「楽しい！を創る あ・そ・び」 宮城県レクリエーション協会 副会長 佐藤 雄司 氏	令和 7 年 11 月 6 日(火) まなウェルみやぎ 受講者 13 人

(2) 現任保育士研修（詳細）

① 所長研修

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和7年12月3日(水) まなウェルみやぎ 受講者 52人	講義「職員育成と保護者支援～発達の多様性をふまえた実践とマネジメント～」 宮城学院女子大学 名誉教授 足立 智昭 氏
令和7年12月17日(水) まなウェルみやぎ 受講者 40人	

② カウンセリング基礎研修

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和7年7月14日(月) 7月15日(火) まなウェルみやぎ 受講者 13人	【1日目】 講義・演習「カウンセリングの基礎～自分自身を知るために～」 【2日目】 講義・演習「問題解決に向けての取組」 東北文化学園大学 教授 藤原 加奈江 氏
令和7年8月4日(月) 8月5日(火) まなウェルみやぎ 受講者 15人	

③ カウンセリング応用研修

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和7年9月11日(木) 9月12日(金) まなウェルみやぎ 受講者 11人	【1日目】 講義・演習「自分を振り返ってみよう～相手に伝わる伝え方～」 【2日目】 講義・演習「問題解決に向けての取組」 東北文化学園大学 教授 藤原 加奈江 氏

④ 相談・支援研修

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和7年10月17日(金) まなウェルみやぎ 受講者 59人	講義・演習「保育者の専門性を意識した保護者への保育相談支援のあり方」 聖学院大学 講師 上野 直子 氏
令和7年12月4日(木) まなウェルみやぎ 受講者 43人	講義・演習「現代の子育て家庭に対する相談・支援の在り方」 尚絅学院大学 教授 前田 有秀 氏

⑤ 大学派遣研修

※ 宮城学院女子大学に委託して実施（3日間）

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和7年8月19日(火) 宮城学院女子大学 受講者 43人	「虐待の早期発見とその対応」 宮城学院女子大学 教授 足立 智昭 氏
	「対人コミュニケーション」 東北福祉大学 専任講師 柴田 理瑛 氏
	「保護者向け Web アンケートの作成. デジタル時代におけるA I の活用」 宮城学院女子大学 准教授 伊藤 哲章 氏
令和7年8月26日(火) 宮城学院女子大学 受講者 43人	「『気になる』子どもの発達支援」 宮城学院女子大学 准教授 平川 久美子 氏
	「保育所における食育の課題」 宮城学院女子大学 准教授 丹野 久美子 氏
	「保育組織の危機介入」 東北学院大学 教授 平野 幹雄 氏
令和7年9月2日(火) 宮城学院女子大学 受講者 43人	「アウトドアを活用した幼児教育：森のこども園の知恵」 森のこども園 園長 武田 健 氏
	「運動遊びと幼児の健康」 宮城学院女子大学 准教授 守 渉 氏
	「保育ソーシャルワーク」 宮城学院女子大学 教授 熊坂 聡 氏

(3) 保育士等キャリアアップ研修（詳細）

※（株）ポピンズプロフェッショナルに委託して実施

・1分野：15時間以上

・インターネットを利用した講義（動画視聴）及び演習（ワーク・レポート作成等）

分野	開催期間	研修講師	修了者
① 乳児保育	令和7年9月16日 ～令和8年1月13日	富田 久枝 氏	1,036人
② 幼児教育	令和7年9月16日 ～令和8年1月13日	栗原 ひとみ 氏 助川 公継 氏	832人
③ 障害児保育	令和7年9月16日 ～令和8年1月13日	土沢 薫 氏 井上 祐紀 氏	871人
④ 食育アレルギー対応	令和7年9月16日 ～令和8年1月13日	太田 百合子 氏 古川 真弓 氏	1,027人
⑤ 保健衛生・安全対策	令和7年9月16日 ～令和8年1月13日	成川 美和 氏	796人
⑥ 保護者支援・子育て支援	令和7年9月16日 ～令和8年1月13日	岡本 依子 氏 小崎 恭弘 氏	990人
⑦ マネジメント	令和7年9月16日 ～令和8年1月13日	鈴木 健史 氏	601人
合 計			6,153人

(4) 子育て支援員研修（詳細）

※ 一般社団法人マザー・ウイングに委託して実施

① 地域保育コース（地域型保育）＜多賀城会場＞

ア 基本研修：（②放課後児童コースの基本研修と合同） 修了者：52人

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和7年8月26日(火) 多賀城市文化センター	ガイダンス 基本科目①「子ども・子育ての家庭の現状」 基本科目②「子ども家庭福祉」 東北福祉大学 君島 昌志 氏 基本科目③「子どもの発達」 基本科目④「保育の原理」 東北福祉大学 山崎 敦子氏
令和7年8月28日(木) 多賀城市文化センター	基本科目⑥「児童虐待と社会的養護」 東北学院大学大学院 川村 玲香 氏 基本科目⑦「子どもの障害」 自閉症ピアリンクセンター ここねっと センター長 黒澤 哲 氏 基本科目⑤「対人援助の価値と倫理」 東北福祉大学 高野 亜紀子 氏 基本科目⑧「総合演習」 一般社団法人マザー・ウイング 代表理事 小川 ゆみ 氏

イ 専門研修

修了者：39人 一部科目修了者6人

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和7年9月19日(金) 多賀城市文化センター	共通科目④「小児保健Ⅰ」 共通科目⑤「小児保健Ⅱ」 仙台市夜間休日こども急病診療所 所長 村田 祐二 氏 共通科目⑫「実施自治体の制度について」 宮城県子育て社会推進課 子ども・子育て専門監 佐々木 真理 氏 共通科目⑥「心肺蘇生法（普通救命講習Ⅲ）」 日本赤十字社宮城県支部
令和7年9月21日(日) 多賀城市文化センター	共通科目①「乳幼児の生活と遊び」 共通科目②「乳幼児の発達と心理」 東北福祉大学 平川 昌宏 氏 共通科目③「乳幼児の食事と栄養」 仙台市地域活動栄養士会 豊嶋 賀代 氏 共通科目⑩「特別に配慮を要する子どもへの対応（0～2歳）」 自閉症ピアリンクセンター 黒澤 哲 氏
令和7年9月23日(火) 多賀城市文化センター	共通科目⑦「地域保育の環境整備」 共通科目⑧「安全の確保とリスクマネジメント」 共通科目⑨「保育者の職業倫理と配慮事項」 認定こども園ろりぽっぷ学園 高橋 恵美 氏 共通科目⑪「グループ討議」 一般社団法人マザー・ウイング 代表理事 小川 ゆみ 氏
令和7年9月28日(日) 多賀城市文化センター	選択科目①「地域型保育の概要」 選択科目②「地域型保育の保育内容」 選択科目③「地域型保育の運営」 選択科目④「地域型保育における保護者への対応」 仙台市子育てふれあいプラザ のびすく泉中央 久松 優子 氏 選択科目⑤「見学実習オリエンテーション」 宮城県子育て支援員研修事務局 久松 優子 氏

※保育施設の見学実習2日

② 放課後児童コース＜多賀城会場＞

ア 基本研修：（①地域保育コース（地域型保育）の基本研修と合同）

イ 専門研修

修了者：16人 一部科目修了者1人

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和7年10月6日(月) 多賀城市市民活動サ ポートセンター	選択科目①「放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容」 宮城県子育て社会推進課 子ども・子育て専門監 佐々木 真理 氏 選択科目②「放課後児童クラブにおける権利擁護とその機能・役割等」 選択科目④「子どもの生活と遊びの理解と支援」 特定非営利法人子育て応援団ゆうわ 代表理事 齋藤 勇介 氏
令和7年10月9日(木) 多賀城市市民活動サ ポートセンター	選択科目⑤「子どもの生活面における対応等」 選択科目⑥「放課後児童クラブに従事する者の仕事内容と職場倫理」 特定非営利法人子育て応援団ゆうわ 代表理事 齋藤 勇介 氏 選択科目③「子どもの発達理解と児童機（6 から 12 歳）の生活と発達」 自閉症ピアリンクセンター 黒澤 哲 氏

③ 地域保育コース（地域型保育）＜名取会場＞

ア 基本研修

修了者：37人

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和7年11月6日(木) 名取市文化会館	ガイダンス 基本科目①「子ども・子育て家庭の現状」 基本科目②「子ども家庭福祉」 東北福祉大学 君島 昌志 氏 基本科目③「子どもの発達」 基本科目④「保育の原理」 東北福祉大学 山崎 敦子 氏 基本科目⑤「対人援助の価値と倫理」 東北福祉大学 高野 亜紀子 氏
令和7年11月7日(金) 名取市文化会館	基本科目⑥「児童虐待と社会的養護」 東北学院大学 大学院 川村 玲香 氏 基本科目⑦「子どもの障害」 自閉症ピアリンクセンター 黒澤 哲 氏 基本科目⑧「総合演習」 一般社団法人マザー・ウイング 代表理事 小川 ゆみ 氏

イ 専門研修

修了者40人 一部科目修了者：3人

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和7年11月14日(金) 名取市文化会館	共通科目④「小児保健Ⅰ」 共通科目⑤「小児保健Ⅱ」 仙台市夜間休日こども急病診療所 所長 村田 祐二 氏 共通科目⑥「心肺蘇生法」(普通救命講習Ⅲ) 名取市消防本部
令和7年11月17日(月) 名取市文化会館	共通科目⑦「地域保育の環境整備」 共通科目⑧「安全の確保とリスクマネジメント」 共通科目⑨「保育者の職業倫理と配慮事項」 認定こども園ろりぽっぷ学園 高橋 恵美 氏 共通科目③「乳幼児の食事と栄養」 仙台市地域活動栄養士会 豊嶋 賀代 氏 共通科目⑫「実施自治体の制度について」 宮城県子育て社会推進課 子ども・子育て専門監 佐々木 真理 氏
令和7年11月20日(木) 名取市文化会館	共通科目①「乳幼児の生活と遊び」 共通科目②「乳幼児の発達と心理」 東北福祉大学 平川 昌宏 氏 共通科目⑩「特別に配慮を要する子どもへの対応(0～2歳)」 自閉症ピアリンクセンター 黒澤 哲 氏 共通科目⑪「グループ討議」 一般社団法人マザー・ウイング 代表理事 小川 ゆみ 氏
令和7年11月28日(金) 名取市文化会館	専門科目①「地域型保育の概要」 専門科目②「地域型保育の保育内容」 専門科目③「地域型保育の運営」 仙台市子育てふれあいプラザ のびすく泉中央 久松 優子 氏 専門科目④「地域型保育における保護者への対応」 一般社団法人マザー・ウイング 代表理事 小川 ゆみ 氏 専門科目⑤「見学実習オリエンテーション」 宮城県子育て支援員研修事務局 小川 ゆみ 氏・久松 優子 氏

※ 保育施設の見学実習2日

(5) 放課後児童支援員宮城県認定資格研修（詳細）

※ 特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわに委託して実施（４日間×３回）

第１回

【会 場】 仙台市旭ヶ丘市民センター 大ホール

修了者：９７人、一部修了者１人

実施日	内 容 ・ 講 師
令和７年９月１１日(木)	「放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容」 宮城県子育て社会推進課 子ども・子育て専門監 佐々木 真理 氏
	「放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護」 東北大学大学院 准教授 石井山 竜平 氏
	「こども家庭福祉施策と放課後児童クラブ」 「こどもの発達理解」 宮城教育大学大学院 准教授 越中 康治 氏
令和７年９月１２日(金)	「放課後児童クラブに通うこどもの育成支援」 仙台市連坊小路マイスクール児童館 館長 佐藤 のりみ 氏
	「児童期（６歳～１２歳）の生活と発達」 尚絅学院大学 講師 中俣 友子 氏
	「障害のあるこどもの理解」 「特に配慮を必要とするこどもの理解」 東北福祉大学 講師 山本 良 氏
令和７年９月１８日(木)	「保護者との連携・協力と相談支援」 仙台市金剛沢児童館 古澤 綾 氏
	「障害のあるこどもの育成支援」 仙台市水の森児童館 主任 庄子 珠美 氏
	「こどもの遊びの理解と支援」 「放課後児童支援員の仕事内容」 仙台市東長町児童館 館長 田中 悠也 氏
令和７年９月１９日(金)	「安全対策・緊急時対応」 仙台市八本松児童館 館長 松浦 大輔 氏
	「学校・地域との連携」 仙台市連坊小路マイスクール児童館 館長 佐藤 のりみ 氏
	「こどもの生活面における対応」 特定非営利活動法人虹の架け橋 統括 平山 恵美 氏
	「放課後児童クラブの運営理論と運営主体の法令の遵守」 仙台市立町マイスクール児童館 館長 小泉 節子 氏

第2回

【会 場】石巻合同庁舎 大会議室

修了者：69人、一部修了者1人

実施日	内 容 ・ 講 師
令和7年10月2日(木)	「放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容」 宮城県子育て社会推進課 子ども・子育て専門監 佐々木 真理 氏
	「放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護」 岩手大学 准教授 深作 拓郎 氏
	「児童期（6歳～12歳）の生活と発達」 尚絅学院大学 講師 中俣 友子 氏
	「放課後児童クラブに通うこどもの育成支援」 仙台市鶴ヶ谷東マイスクール児童館 館長 遠藤 恵 氏
令和7年10月3日(金)	「こどもの発達理解」 「こども家庭福祉施策と放課後児童クラブ」 宮城教育大学大学院 准教授 越中 康治 氏
	「障害のあるこどもの理解」 「特に配慮を必要とするこどもの理解」 東北福祉大学 講師 山元 良 氏
令和7年10月8日(水)	「こどもの遊びの理解と支援」 仙台市東長町児童館 館長 田中 悠也 氏
	「障害のあるこどもの育成支援」 仙台市水の森児童館 主任 庄子 珠美 氏
	「放課後児童支援員の仕事内容」 仙台市東長町児童館 館長 田中 悠也 氏
	「安全対策・緊急時対応」 仙台市八本松児童館 館長 松浦 大輔 氏
令和7年10月9日(木)	「こどもの生活面における対応」 特定非営利活動法人虹の架け橋 総括 平山 恵美 氏
	「保護者との連携・協力と相談支援」 仙台市金剛沢児童館 古澤 綾 氏
	「学校・地域との連携」 仙台市国見児童館 富田 大貴 氏
	「放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守」 仙台市立町マイスクール児童館 館長 小泉 節子 氏

第3回

【会 場】宮城県行政庁舎

修了者：180人、一部修了者：6人

実施日	内 容 ・ 講 師
令和7年10月23日(木)	「放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容」 宮城県子育て社会推進課 子ども・子育て専門監 佐々木 真理 氏
	「放課後児童クラブに通うこどもの育成支援」 仙台市鶴ヶ谷東マイスクール児童館 館長 遠藤 恵 氏
	「こどもの家庭福祉施策と放課後児童クラブ」 「こどもの発達理解」 宮城教育大学大学院 准教授 越中 康治 氏
令和7年10月24日(金)	「学校・地域との連携」 仙台市国見児童館 富田 大貴 氏
	「放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護」 岩手大学 准教授 深作 拓郎 氏
	「障害のあるこどもの理解」 「特に配慮を必要とするこどもの理解」 東北福祉大学 講師 柴田 理瑛 氏
令和7年10月30日(木)	「児童期（6歳～12歳）の生活と発達」 尚絅学院大学 講師 中俣 友子 氏
	「障害のあるこどもの育成支援」 仙台市水の森児童館 主任 庄子 珠美 氏
	「保護者との連携・協力と相談支援」 仙台市金剛沢児童館 古澤 綾 氏
	「放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守」 仙台市立町マイスクール児童館 館長 小泉 節子 氏
令和7年10月31日(金)	「こどもの生活面における対応」 特定非営利活動法人虹の架け橋 総括 平山 恵美 氏
	「安全対策・緊急時対応」 仙台市八本松児童館 館長 松浦 大輔 氏
	「こどもの遊びの理解と支援」 「放課後児童支援員の仕事内容」 仙台市東長町児童館 館長 田中 悠也 氏

7 子どもの心のケア推進事業

東日本大震災により様々な体験をした子どもたちの心のケアを行うために、子どもたちが表す様々な精神症状や心の問題について、地域の関係機関と連携しながら充実した医療的支援を行うため、子ども総合センター附属診療所における児童精神科医療体制の強化を図っている。

また、保育士や教員など子どものメンタルヘルスに関わる支援者の対応力向上を図ることを目的とし、地域の状況の経年的変化に沿って内容を調整しながらコンサルテーションや事例検討会、研修会などを実施している。

(1) 子どもの心のケア体制強化事業

① クリニック対応医師の委嘱

クリニックの診療体制強化のために児童精神科医 3 名(年間 101 回)を外部委嘱した。

② 「りんくるみやぎ」スタッフ会議への参加

③ 「心のサポート班事例検討会」における助言

④ 子ども・若者支援地域協議会への参加

(2) 子どもの心のケア研修事業

保育士、教員、保健師等の子どものメンタルヘルスに関わる支援者を対象に、子どもの心のケアに関する研修会や対応困難な親子への関わりを学ぶ研修会を実施した。

○ 実施状況

①保育所等関係者研修会

支援者が子どもへの効果的な支援の在り方や関わり方、また、自らのメンタルヘルスケアについて学ぶことで、対応力向上の一助となることを目的として実施した。

講 義「気になる子と保護者の理解」、座談会

実施日・会場	講 師
令和 7 年 8 月 21 日(木) まなウェルみやぎ 受講者 20 人	東北学院大学 教授 平野 幹雄 氏
令和 7 年 9 月 10 日(水) 大崎合同庁舎 受講者 12 人	東北福祉大学 講師 柴田 理瑛 氏
令和 7 年 10 月 8 日(水) 石巻合同庁舎 受講者 24 人	宮城学院女子大学 名誉教授 足立 智昭 氏

②児童精神科医による対応困難な親子に関する研修会

対応困難な親子への理解を深め、支援者に必要とされる視点や関わり方について考える機会とし、また、支援者自らのメンタルヘルスケアの一助となることを目的として実施した。

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和7年12月18日(木) まなウェルみやぎ 受講者 9人	講話及び座談会 「大人の精神障害について」 講師 宮城県子ども総合センター附属診療所 児童精神科医師 鈴木 勝昭

③虐待から子どもを守るための研修会（児童虐待対応職員研修会）

子どもが意見を表明しやすい社会の実現が具体化される中で、児童虐待対応の中での実践における課題や改善策などを共有し、子どもの最善の利益を重んじた児童虐待対応力の向上を目的として実施した。

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和7年12月23日(火) まなウェルみやぎ 受講者 52人	講義・演習 「子どもの意見表明の実践と課題」 ～子どもの意見を尊重するとは～ 講師 社会福祉法人博萌会子どもの虹情報研修センター センター長 増沢 高 氏

④アートセラピー研修会

アートセラピーを介して、子どものメンタルヘルスに関わる支援者の対応力の向上を図り、子どもの心身の健康に資することを目的として実施した。

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和7年12月18日(木) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 39人	講義・演習 「こどもの感性を開き、おとなも共に楽しむアートワークセラピー」 講師：特定非営利活動法人 子ども未来研究所 アートワークセラピスト 中島 ゆき子 氏

⑤子どもの愛着形成について考える研修会

愛着形成において課題を抱える子どもの心をよりよく育むため、子どものメンタルヘルスに関わる支援者の対応力の向上を図ることを目的として実施した。

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和7年6月23日(月) まなウェルみやぎ 受講者 85人	講義・演習 「愛着（アタッチメント）形成の不全の理解とその支援」 講師 東北大学 名誉教授 AFL 発達支援研究所 代表 本郷 一夫 氏

⑥子どもの心の回復力を育てる研修会

傷つきながらも、その経験をしなやかに受け止めて立ち直る心（レジリエンス）を育てる支援について学ぶことを目的として実施した。

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和8年1月21日(水) まなウェルみやぎ 受講者 54人	講義・演習 「子どもの心の回復力（レジリエンス）を育むために」 講師 東北大学 名誉教授 AFL 発達支援研究所 代表 本郷 一夫 氏

⑦子どものための心理的応急処置（子どものためのPFA）研修

危機的状況において子どもが示す一般的な反応を理解するとともに、ストレスを抱えた子どもとのコミュニケーションの方法など、子どものためのPFAの基本や、必要な支援について学ぶことを目的として実施した。

ア：紹介研修

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和7年7月3日(木) オンライン研修 受講者 74人	講義 「子どものためのPFAとは」 「危機的状況にいる子どもが示す反応について」 講師 公益社団法人 宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター長 福地 成 氏

イ：1日研修

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和7年9月18日(木) まなウェルみやぎ 受講者 23人	講義 「『子どものためのPFA』とは」 「危機的状況にいる子どもが一般的に示す反応について」 「PFAを必要とする子どもの見極め方とPFAの行動原則」 「ストレスを抱えている子どもとのコミュニケーションの取り方」 講師 公益社団法人 宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター長 福地 成 氏 東北工業大学 客員研究員 猿渡 英代子 氏 一般財団法人 やまとコミュニティホスピタル 光ヶ丘スペルマン病院 地域医療連携室 保健師 尾崎 朱美 氏
令和8年1月29日(木) まなウェルみやぎ 受講者 17人	講義 「『子どものためのPFA』とは」 「危機的状況にいる子どもが一般的に示す反応について」 「PFAを必要とする子どもの見極め方とPFAの行動原則」 「ストレスを抱えている子どもとのコミュニケーションの取り方」 講師 公益社団法人 宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター長 福地 成 氏 一般財団法人 やまとコミュニティホスピタル 光ヶ丘スペルマン病院 保健師 尾崎 朱美 氏 宮城県さわらび学園 技術主査 佐藤 啓直 氏

8 発達障害者支援センターの運営

当事者とその家族の多様化するニーズに対応するため、身近な地域で充実した支援が受けられる体制が必要であることから、令和元年7月に県直営となる発達障害者支援センターを設置し、一次支援機関（市町村、障害児等療育支援事業受託事業所等）、二次支援機関（発達障害者地域支援マネジャー配置事業所）と相互に連携を図り技術支援を行った。

また、発達障害児等の家族支援を推進するため、令和3年度からペアレント・プログラム事業やペアレント・メンター派遣事業を、令和4年度からペアレント・トレーニング事業を実施した。

（1）発達障害者支援センター活動実績

各圏域の発達障害者地域支援マネジャー及び障害児等療育支援事業担当者等と密に連携し、地域の実情に応じた機関支援（個別ケース等を通じた技術支援や事例検討会等）を展開した。

○相談実績（支援者相談等を含む）

相談者数

単位：人

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人数	9	7	8	3	3	6	12	11	8	2	1	9	79
延べ人数	9	7	8	3	3	6	12	11	10	2	2	11	84

相談者の内訳

単位：人

区 分	本 人	家 族	関係機関	その他	計
実人数	5	52	22	0	79

対象者の年齢

単位：人

区 分	0～3 歳	4～6 歳	7～12 歳	13～15 歳	16～18 歳	19～39 歳	40 歳～	不明	計
実人数	4	5	22	15	7	7	1	18	79

相談方法

単位：件

区 分	電話	来所	訪問	メール・FAX	計
延べ件数	67	1	1	15	84

相談内容

単位：件

区 分	延べ件数
診断・相談・支援を受けられる機関について	54
対応困難な状況の改善について	8
現在の生活に関すること、家庭で家族ができること	3
相談の対象となっている児（者）が発達障害かどうか	1
現在通学している学校、利用しているサービス等	3
利用できる制度について	2
進路や将来の生活に関する相談	2
今後の就労について	1

現在勤めている職場に関する相談	2
その他	22
合 計	98

○支援者相談実績

相談件数（再掲）単位：件

実件数	延べ件数
6	6

相談対象者の圏域

単位：件

圏 域	仙南	仙台 A※ 1	仙台 B※ 2	大崎	石巻	栗原	登米	気仙沼	計
件 数	2	1	0	2	0	0	1	0	6

※1 名取市・岩沼市・亘理町・山元町

※2 塩竈市・多賀城市・富谷市・松島町・七ヶ浜町・利府町・大和町・大郷町・大衡

相談対象者の所属

単位：人

区 分	幼稚園・保育 所	小学校	中学校	高等学校	特別支援学 校	所属なし	計
実人数	0	1	0	1	2	2	6

相談内容（再掲）

単位：件

区 分	延べ件数
相談の対象となっている児（者）が発達障害かどうか	1
現在の生活に関することや、家庭で家族ができること	1
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談	2
進路や将来の生活に関する相談	0
対応困難な状況の改善について（強度行動障害、精神疾患など）	4
その他（関係機関との連携、支援者の役割分担）	6
合 計	14

○連携先機関別活動実績

単位：件

関係機関	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
精神保健推進室	5	1	0	1	0	3	4	5	7	2	4	4	36
えくぼ※1	6	18	5	17	2	21	5	26	11	22	7	22	162
地域支援マネジャー配置事業所※2	7	20	11	21	7	27	12	24	16	24	13	24	206
療育支援事業委託事業所※3	4	17	5	20	5	24	8	23	7	18	8	19	158
その他事業所	7	2	3	3	10	7	13	5	2	3	1	5	61
市町村	5	1	11	8	8	7	9	8	6	8	5	2	78
保健福祉事務所	0	4	1	4	4	2	2	5	1	8	2	4	37
学校	3	3	4	4	3	4	7	6	2	3	0	2	41
幼稚園・保育所	0	1	1	1	0	3	5	2	3	0	0	0	16
教育委員会	1	0	1	1	2	0	1	0	0	1	0	1	8
医療機関	1	1	1	0	3	1	1	1	2	3	2	2	18
その他	9	9	8	6	11	6	13	9	7	9	10	6	103

合 計	48	77	51	86	55	105	80	114	64	101	52	91	924
-----	----	----	----	----	----	-----	----	-----	----	-----	----	----	-----

※1 宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」 ((1) ~ (5) の実績を含む)

※2 発達障害者地域支援マネジャー

※3 宮城県障害児等療育支援事業所委託事業所

○圏域別活動実績

単位：件

圏 域	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
仙 南	1	2	4	6	0	3	2	7	1	7	5	4	42
仙台A※ 1	7	3	3	6	4	5	6	3	2	3	2	1	45
仙台B※ 2	2	5	5	8	6	8	2	2	2	3	2	7	52
大 崎	1	3	2	6	2	4	1	3	0	4	0	4	30
石 巻	1	2	3	5	1	8	2	6	1	2	0	2	33
栗 原	0	2	0	2	1	5	0	1	8	8	4	2	33
登 米	0	3	1	3	3	4	1	3	0	3	0	3	24
気仙沼	3	1	1	2	2	2	0	2	0	4	1	2	20
全 県	16	11	9	7	10	13	16	12	12	10	13	6	135
仙台市	1	0	0	2	0	2	0	1	0	1	1	0	8
計	32	32	28	47	29	54	30	40	26	45	28	31	422

※1 名取市・岩沼市・亘理町・山元町

((1) ~ (5) の実績を含む)

※2 塩竈市・多賀城市・富谷市・松島町・七ヶ浜町・利府町・大和町・大郷町・大衡村

(2) 新規ケース支援検討会・定期連絡会

令和6年度から、圏域ごとに隔月で新規ケース支援検討会及び定期連絡会を実施した。新規ケース支援検討会では各発達障害地域支援マネジャー及び障害児等療育支援事業担当者が新たに受理した相談ケースについて多職種による多角的な視点から検討を行った。定期連絡会では各圏域の発達障害者地域支援マネジャー及び障害児等療育支援事業担当者の活動状況の共有、三次支援機関（宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」・子ども総合センター）からの情報提供等を行うことにより、支援体制の構築に向けた技術的支援を実施した。

圏域	仙南	仙台A	仙台B	大崎	石巻	栗原	登米	気仙沼	計
ケース検討数	13	7	8	15	9	9	6	19	86

(3) 情報交換会

令和6年度から、発達障害地域支援マネジャー及び障害児等療育支援事業担当者の各圏域における支援体制づくりを推進するため、三次支援機関（宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」・子ども総合センター）とともに情報交換会を実施し、活動状況の共有や課題を把握し、関係機関とのネットワーク構築、圏域での人材育成、家族支援事業の展開等を検討した。

実施日	内容
令和7年4月10日(木)	①R7年度事業体系及び年間計画等について（えくぼ・直営） ②発達障害者啓発週間等活動報告（えくぼ） ③発達障害支援市町村等担当者会議（精神室・えくぼ・直営） ④R7年度取り組み予定等（各圏域）
令和7年6月13日(金)	①地域支援マネジャー・療育相談員活動状況（各圏域） ②読み書き困難へのリモート学習支援事業等について（直営） ③障害者虐待防止の推進について（えくぼ）

	④情報交換「ペアレント・プログラムの普及について」
令和7年8月7日(木)	①講話「個別の教育支援計画について」 (総合教育センター 主幹 斎藤 貴裕 氏) ②地域支援マネジャー・療育相談員活動状況(各圏域) ③ペアレント・メンター養成研修等について(直営) ④情報交換「性教育や性的問題行動への対応について」
令和7年10月2日(木)	①市町村ヒアリング及び発達障害者支援推進会議について (精神保健推進室) ②地域支援マネジャー・療育相談員活動状況(各圏域) ③教育一福祉連携研修アンケート結果等について(直営) ④意見交換「県内の強度行動障害支援体制の状況について」
令和7年12月18日(木)	①地域支援マネジャー・療育相談員活動状況(各圏域) ②発達障害支援者基礎研修実施状況等について(直営) ③意見交換「家族支援(“我が子理解”、保護者との協働)について」(話題提供:仙南圏域)
令和8年1月30日(金)	R8年度以降の県発達障害児者支援体制について (精神保健推進室)
令和8年3月16日(月)	一次～三次打合せ会

(4) 研修会の開催

発達障害児支援業務に従事している支援者に対し、知識と技術の向上を図り、実践につなげていくことを目的に各種研修会を開催した。

発達障害支援者基礎研修(一次支援機関対象)

方式	内容・講師	受講者数
オンデマンド配信 (令和7年5月1日～令和8年2月28日)	講義:「発達障害の概要と基本的対応について」 講師:宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長(小児科医) 佐藤 寛記	申込件数 263 件 受講者数 702 人

実践研修Ⅰ(相談支援業務(市町村、相談支援事業所、基幹相談支援センター等)担当職員対象)

	実施日	会場	内容・講師	受講者数
前期	令和7年8月5日(火)	まなウェルみやぎ 第3研修室	講義・演習「発達障害児者の相談支援 アセスメントと具体的支援の提案」 講師:宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長(小児科医) 佐藤 寛記	15 人

実践研修Ⅱ(直接支援部門(保育所、小・中・高校、放課後等デイサービス等)職員対象)

	実施日	会場	内容・講師	受講者数
前期	①令和7年5月26日(月) ② 〃 6月17日(火) ③ 〃 7月15日(火)	まなウェルみやぎ ①②第2研修室 ③第3研修室	講義・演習「発達障害特性のアセスメント ティーチャーズ・トレーニング① ～③」 講師:宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長(小児科医)	①37 人 ②35 人 ③34 人

			佐藤 寛記	
後期 (大崎)	①令和7年10月16日(木) ② 〃 11月6日(木) ③ 〃 12月4日(木)	大崎合同庁舎 大会議室	講義・演習「発達障害特性のアセスメント ティーチャーズ・トレーニング① ～③」 講師：宮城県子ども総合センター 技術次長(班長) 宮本 哲弘	①15人 ②14人 ③15人
後期 (名取)	①令和7年10月29日(水) ② 〃 11月28日(金) ③ 〃 12月17日(水)	まなウェルみ やぎ 第2研修室	講義・演習「発達障害特性のアセスメント ティーチャーズ・トレーニング① ～③」 講師：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長(小児科医) 佐藤 寛記	①29人 ②30人 ③31人

母子保健体制強化事業（発達障害児支援分野）

（県・市町村の保健師、市町村母子保健事業に従事する職員等対象）

実施日	会場	内容・講師	受講者数
令和7年7月24日(木)	子ども総合センター 会議室 (ハイブリッド)	講義「発達早期のアセスメントの視点」 講師：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長(小児科医) 佐藤 寛記 講義「アセスメントツールの活用例～1歳6か月 児健診時のM-CHAT導入から子ども相談支援事 業へ～」 話題提供者： 亘理町こども家庭センター 藤原 幹子 氏 亘理町健康推進課兼こども家庭センター 佐々木 美鈴 氏 助言者：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長(小児科医) 佐藤 寛記 講義「健診で見つかった「気になる子」への 支援の考え方ー小児科医の立場からー」 講師：こん小児科クリニック 院長 今 公弥 氏 行政説明「家族支援事業の概要と県内の取組状況 について」 説明者：子ども総合センター発達障害者支援班 技術主幹 松木 儀浩	95人 (集合：23人、 Web：72人)

		取組紹介「幼保連携型認定こども園を拠点とした ペアレント・プログラムの実際について」 紹介者：川崎町保健福祉課 菅野 君枝 氏	
--	--	---	--

福祉と教育の連携による発達障害支援者研修（福祉：市町村、保育所、放課後等デイサービス等職員、教育：小・中・高校特別支援教育コーディネーター等）

圏域	実施日	会場	内容・講師	受講者数
仙台 A	令和 7 年 7 月 1 日（火）	まなウェルみやぎ 第 1・第 2 研修室	【本研修】 ①実践発表「教育と福祉の連携に関する地域の 実践事例発表」 発表者：各圏域発達障害者地域支援マネジャー、 特別支援教育コーディネーター等 ②講義・演習「インシデントプロセス法を基に した事例検討」 講師：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長（小児科医） 佐藤 寛記	福祉 17 人 教育 40 人
仙南	令和 7 年 7 月 8 日（火）	大河原合同庁舎 大会議室	発表者：各圏域発達障害者地域支援マネジャー、 特別支援教育コーディネーター等 ②講義・演習「インシデントプロセス法を基に した事例検討」 講師：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長（小児科医） 佐藤 寛記	福祉 25 人 教育 61 人
仙台 B	令和 7 年 8 月 27 日（水）	仙台合同庁舎 1001～1003 会議 室	講師：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長（小児科医） 佐藤 寛記	福祉 31 人 教育 71 人
気仙沼	令和 7 年 8 月 29 日（金）	気仙沼合同庁舎 大会議室	事後研修（動画視聴） ○共通 「学校生活に困難を来す子どもの理解と支援」	福祉 12 人 教育 28 人
大崎 栗原	令和 7 年 9 月 3 日（水）	大崎合同庁舎 大会議室	講師：東北医科薬科大学 准教授 福地 成 氏 「児童生徒や保護者が抱える不安や葛藤への 支援について」	福祉 11 人 教育 74 人
石巻 登米	令和 7 年 9 月 19 日（金）	石巻合同庁舎 大会議室	講師：臨床心理士 早川 典子 氏 「研修会の振り返りとアセスメントから考 える支援」 講師：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長（小児科医） 佐藤 寛記 ○教育機関参加者向け 「宮城県発達障害者支援体制について」（子 ども総合センター発達障害者支援班作成） ○福祉機関参加者向け 「特別支援教育の支援体制について」（総合 教育センター特別支援教育班作成）	福祉 13 人 教育 91 人

保護者支援研修（市町村母子保健・子育て支援担当課、児童発達支援センター、保育所等の職員対象）

実施日	会場	内容・講師	受講者数
令和7年9月25日（木）	まなウェルみやぎ 多目的室A	講義・演習「未就学の発達障害児を持つ保護者への適切な支援とは」 講師：尚絅学院大学 特任教授 加藤 道代 氏	35 人

地域支援体制づくり研修（市町村母子保健・子育て支援担当課、市町村教育委員会、発達障害者地域支援マネージャー、障害児等療育支援事業担当職員等対象）

実施日	会場	内容・講師	受講者数
令和7年6月13日（金）	まなウェルみやぎ 多目的室A	講義・演習「地域の強みを確認する」 講師：こども家庭庁 発達障害児支援専門官 今出 大輔 氏	48 人

圏域別研修

圏域	実施日	会場	内容・講師	受講者数
仙南 仙台A	令和7年6月13日（金）	まなウェル みやぎ 多目的室A	①講義：「Q-SACCS による現状の支援体制の可視化からPDCA まで」 講師：こども家庭庁 発達障害児支援専門官 今出 大輔 氏 ②話題提供：「保健・福祉・子育て・教育のつながりによる面的整備を目指して」 話題提供者： 角田市子育て支援課 小島 洋子 氏 仙南圏域発達障害者地域支援マネージャー 猪又 初恵 氏 ③話題提供：「早期支援体制の整備における成果と今後の課題～多角的視点からの取組～」 話題提供者： 亘理町こども家庭センター 阿部 香奈江 氏 仙台A 圏域発達障害者地域支援マネージャー 片瀬 道 氏	40 人
登米	令和7年10月6日（月）	登米市南方 総合支所 大会議室	講義：「親雄の気持ちを知ることから始めよう～気持ちの揺れ動く保護者を応援するためにできること～」 講師：宮城学院女子大学 名誉教授 足立 智昭 氏	23 人
栗原	令和8年1月9日（金）	栗原合同庁 舎 第一会議室	①講義：「チームでつくる切れ目のない支援」 講師：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長（小児科医） 佐藤 寛記 ②実践発表「多職種によるチーム支援」 発表者：登米圏域発達障害者地域支援マネージャー 及川 かよ 氏 ③情報提供「療育支援事業・発達障害者地域支援マ	30 人

			ネジャーの役割」 発表者：栗原圏域発達障害者地域支援マネジャー 中鉢 彩香 氏	
--	--	--	---	--

（５）ひらがな音読支援

読みの苦手な児童からディスレクシアの児童まで幅広く読みの困難を持っている小学校 1 年生児童に早期に気づき指導を開始することを目的に、石巻市、村田町、多賀城市でひらがな音読支援に取り組んでいる。令和 7 年度は多賀城市からの依頼に応じて、実施内容に関する助言・指導及び技術的支援を行った。

年 3 回のスクリーニング評価

6 月：直音音読検査、11 月：直音音読＋単音音読検査、2 月：単音音読＋単文音読検査

スクリーニング評価後の指導

各スクリーニングで指導対象となった児童に対して、少なくとも 21 回の解説指導（一文字を正確に読むための訓練、1 回 5～10 分程度）を学校（学級担任等）で実施。

研修等

実施日	会場	内容・講師	受講者数
令和 7 年 6 月 2 日（月）	多賀城市内小学校	多賀城市第 1 回小学校読みの困難を持つ児童のスクリーニング研修会 講義・演習「読みの困難をもつ児童のスクリーニングと指導」 宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長（小児科医） 佐藤 寛記	14 人

（６）発達障害者家族支援

○ペアレント・プログラム事業

発達障害児等の家族支援を推進するため、子育てに難しさを感じる発達障害児等の家族にペアレント・プログラム（保護者の認知を肯定的に修正することに焦点を当てた簡易的なプログラム）を提供できる体制構築を目指し、ペアレント・プログラムの普及、講師・実施者の養成支援を行った（R7 ペアレント・プログラム修了者：30 人、認定者 15 人）。

研修等

実施日・会場	内容等	受講者数
令和 7 年 12 月 1 日（月） オンライン	ペアレント・プログラムアドバンスワークショップ 講師：宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」 専門相談員 白石 雅一 氏	15 人

○ペアレント・トレーニング事業

発達障害児等の家族支援を推進するため、子育てに難しさを感じる発達障害児等の家族にペアレント・トレーニング（子どもの行動変容を目的に保護者が適切な養育スキルを獲得することを目的としたプログラム）を提供できる体制構築を目指し、ペアレント・トレーニングの普及、実施者の養成支援を行った。

研修等

実施日・会場	内容等	受講者数
①令和7年10月15日（水） ②令和7年10月23日（木） ③令和7年10月30日（木） オンライン	ペアレント・トレーニング実施者養成研修 講師：立正大学心理学部 名誉教授 中田 洋二郎 氏	12人

○発達障害ペアレント・メンター事業

発達障害児等の家族支援を推進するため、発達障害のある子どもを養育した経験のある保護者を発達障害ペアレント・メンター（以下「ペアレント・メンター」という。）として養成し、啓発活動やグループ相談等による家族支援を行った。

ペアレント・メンター登録者数 24人（令和8年3月31日時点）

研修等

実施日	会場	内容等	参加者数
令和7年9月30日（火）	まなウェルみやぎ 第5研修室 （講師はオンライン）	ペアレント・メンター養成研修 ペアレント・メンタースキルアップ研修 【事前研修】（動画視聴） ①講義：「家族支援とペアレント・メンター」 ②講義：「メンターの役割と養成研修の意義」 講師：鳴門教育大学 教授 小倉 正義 氏 ③講義：「発達障害について」 講師：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長（小児科医） 佐藤 寛記 ④行政説明：「宮城県における発達障害児者への支援体制」「宮城県におけるペアレント・メンター活動」 説明者：宮城県子ども総合センター 発達障害者支援班 技師 渡邊 晴菜 【本研修】（集合型） ①講義：「話を聞くことの基礎知識」 ②演習：「ロールプレイ：話を聞く」	養成 4人 スキルアップ 3人

		講師：鳴門教育大学 教授 小倉 正義 氏 ③報告：先輩メンターによる活動報告 報告者：宮城県登録メンター3名	
--	--	---	--

登録ペアレント・メンター派遣実績（派遣件数5件、実6人、延10人）

実施日	派遣先	メンター派遣人数	参加者数
令和7年6月3日（火）	市町村自立支援協議会	2人	24人
令和7年6月17日（火）	市町村自立支援協議会	2人	19人
令和7年9月1日（月）	名取市内医療機関	2人	12人
令和7年10月27日（月）	名取市内児童発達支援センター	2人	17人
令和8年1月19日（月）	名取市内医療機関	2人	10人

9 母子保健指導普及事業

保健所において母子に関する相談内容が多様化し、他機関との連携が必要なケースが増え、より専門的な知識や技術が求められていることが明らかになった。経験年数が浅い職員でも対応が求められるため、保健師のスキルアップを目的として母子保健基礎講座研修を実施した。研修では、周産期のメンタルヘルスや相談支援のための面接技術の基本、乳幼児の定型発達や発達早期のアセスメントなど母子保健業務に従事する上で必要な基礎的な知識を学べる内容とした。

○ 母子保健基礎講座研修

研修名	実施日・会場	内 容	対象・参加者数
① 母子保健 基礎講座Ⅰ	令和7年 8月22日(金) TKP ガーデンシ ティ PREMIUM 仙 台	講義・演習 「乳幼児の定型の精神発達～乳幼児健診の 時期を中心に～」 「発達早期のアセスメントの視点」 講師 宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長（小児科医） 佐藤 寛記	県・市町村の保 健師、看護師、 保育士、心理 士、母子保健事 業に従事する 職員等 33人
② 母子保健 基礎講座Ⅱ	令和7年 10月14日(火) TKP ガーデンシ ティ PREMIUM 仙 台	講義 「周産期メンタルヘルスの基礎知識」 講師 東北大学大学院 准教授 菊地 沙耶 氏	県・市町村の保 健師、看護師、 保育士、心理 士、母子保健事 業に従事する 職員等 25人
③ 母子保健 基礎講座Ⅲ	令和7年 10月17日(金) TKP ガーデンシ ティ PREMIUM 仙 台	講義・演習 「相談支援のために面接技術の基本」 講師 東北文化学園大学 教授 藤原 加奈江 氏	県・市町村の保 健師、看護師、 保育士、心理 士、母子保健事 業に従事する 職員等 14人